



■九州大会男女ソフト結果報告

男子：県立天草高校2-3、県立薩南高等学校3-8
九産大付属九州高等学校7-0(準決勝)
「天草高校との対戦は、8回延長で1点追加した**ねばりをみせて勝った**。準決勝では、得点できずに負けたが**最後に繋がる試合ができ収穫があった**。」(宮平先生)
女子：昭和学園高校1-8、長崎県九州文化学園高校10-4
「初戦は、各県の1位と2位が対戦することになっており、大分県1位との対戦であったが、よく頑張り**5回コールドで勝つことができた**。2回戦は、九州でも強豪チームであるが、**一時はリードする場面もあり生徒達はよく頑張った。成長がみられた**。」(上地先生)

■軽音楽部主催「AUTUMN LIVE」



11月29日、武道場で軽音楽部主催のライブが行われました。**Noro、あるびかるび、パロパティ**の3バンドが日頃の練習成果をエネルギッシュな演奏で発表していました。自分の**大好きな曲を披露したいという気持ち**が伝わり、そして**楽しんで演奏している姿**がとても良かったです!!
次回はもっと沢山の観客が集まることを期待しています。

■県高校PTA研究大会参加報告



11月18日(土)第43回県高校PTA研究大会島尻大会が豊見城中央公民館を主会場とし開催されました。700余名の参加者があり、本校からも12名参加しました。
全体会では、「子どもたちの『命を守る』ためのアピール」として、「**自他の生命を尊重すると共に自尊心や自己有用感を高める教育**」「**親子のコミュニケーションを増やす**」「**事故・事件に巻き込まれない環境作り**」「**携帯電話やスマートフォンの利用ルールを話し合う**」などを確認しました。皆さんも是非、保護者と話し合いをして欲しいと思います。

■12月の行事

- | | |
|---|--|
| 1日(金)インターシップ学習④
(1年マナー講座56校時) | 15日(金)修学旅行(2年)
九州高文祭沖縄大会~17日 |
| 4日(月)クリアアップ週間②
赤い羽根共同募金 | 17日(日)東進最終ワンレベル
模試希望者 |
| 7日(木)性・エイズ・人権
講演会(56校時)
修学旅行生徒結団式 | 18日(月)インターシップ学習④
(1年:お礼状・新聞)
(2年:修学旅行新聞) |
| 8日(金)インターシップ学習⑤
(1年:出発前オリエンテーション) | 21日(木)芸術鑑賞56校時 |
| 9日(土)大進研7A1模試希望者 | 22日(金)全体清掃/学級懇談会/部活動清掃 |
| 11日(月)修学旅行(2年) | 23日(土)天皇誕生日
代ゼミバック模試希望者 |
| 12日(火)修学旅行(2年)
インターシップ①(1年) | 25日(月)2学期終業式
学校評議員会② |
| 13日(水)修学旅行(2年)
インターシップ②(1年) | 26日(火)冬季休業日 |
| 14日(木)修学旅行(2年)
インターシップ③(1年) | 28日(木)仕事納め |

★本の紹介コーナー★

題名：『夜と霧』
著者：ヴィクトール・E・フランクル
池田香代子訳



ドイツ語の原書題名を訳すると『心理学者、強制収容所を体験する』とのこと。和訳タイトル『夜と霧』は、「夜陰に乗り、霧にまぎれて人びとがいずこともなく連れ去られ、消え去った歴史的事実を表現する言い回しだ。」と『訳者あとがき』にある。
本書は、心理学者である著者の強制収容所での体験記。「何百万人が何百万通りに味わった経験、生身の体験者の立場にたつて『内側から見た』強制収容所」の様子や被収容者たちの心理状態が、心理学者の目を通して分析、解説されている。
一列に並ばされた被収容者たちを親衛隊高級将校が選別する場面。将校は、「右肘を左手でささえ右手をっかけ、人差し指をこく控え目にほんのわずか、こちらから見て、あるときは左に、またあるときは右に、しかしたいは左に、動かした・・・」。著者はその夜、右は労働に、左は焼却炉のある建物に向かったことを知る。指先のわずかな動きが生死を分けたのだ。監視員による暴力と嘲り、飢え、恐怖、不安定な生、絶望の日々。被収容者たちは死と向き合わせられるなか、苦痛や人生の意味を探し求める。
平成29年5月20日、東京・有明コロシアムで行われたWBAミドル級タイトル戦の判定には誰もが目を疑った。終始攻め、第4ラウンドにはダウンも奪った村田の右手が高く挙がるものだと思っていたから。WBA会長は異例にも、不可解判定を謝罪し再戦を要請。5ヶ月後の10月22日、村田諒太VSアッサン・エンダムの因縁の再戦は行われた。
村田は、平成24年ロンドン五輪で金メダルを獲得する。翌年、プロへ転向。金メダリストは負けることは許されないと、自分を追い詰めた。もがく村田に父親は『夜と霧』を送る。「**人生に意味を問うてはいけない。人生からの問いかけにどう答えるのが大切なのだ**」という一節を伝えたからだという。その言葉に村田は勇気ももらった。
そして10月22日。鉄壁の防御で前へ出る村田の右ストレートと左ボディは確実に相手をとらえ続けた。第8ラウンド開始直前、腫れた顔を左右に振りながら重い腰を上げたエンダムはレフリーに戦意喪失を告げ試合は終わった。TKO勝利、村田は完全決着を付けたのだ。
たった一人で**リングに上がる恐怖と闘うために、村田は哲学や心理学の本は欠かせない**という。
読書の意義を改めて教えられた。